

# 総務局

一般会計要求総額 4,950百万円  
(対前年度 +16.2%)

## 平成31年度 予算要求の経営方針

総務局は、多様化する行政ニーズに対応し、市民に信頼される市役所づくりを推進するため、人材育成や行財政改革、情報化の推進等、全庁的な総合調整機能を果たしていくとともに、次の4点について積極的な取り組みを進めていく。

- (1) 『北九州市まち・ひと・しごと創生総合戦略』に基づく女性活躍事業の推進
- (2) AI・RPAの活用等による働き方改革の推進
- (3) 情報システム関連の整備や施設の維持管理等、行政サービスの安定的な運営
- (4) 平和への取り組みの推進

## 【平成31年度 予算要求の基本的な考え方】

新規：新規事業、**拡充**：拡充事業

### 『北九州市まち・ひと・しごと創生総合戦略』に基づく

#### 女性活躍事業の推進

要求額 61百万円 (対前年度 +6.8%)

企業等における、女性の活躍をサポートすることにより、暮らしやすい社会、活力ある社会を形成し、本市への女性の定着と社会経済の活性化へとつなげていく。

- 新規** ■女性のためのSDGs ゴール8（ディセントワーク）推進事業
- 拡充** ■働き方改革先進都市事業
- ウーマンワークカフェ北九州運営事業



#### AI・RPAの活用等による働き方改革の推進

要求額 24百万円

AI（人工知能）・RPA（ロボットによる業務自動化）の活用等により、業務の効率化及び生産性の向上に向けた取り組みを行い、働き方改革を推進する。

- 新規** ■AI・RPA等活用支援事業

#### 情報システム関連の整備や施設の維持管理等、

#### 行政サービスの安定的な運営

要求額 3,037百万円 (対前年度 + 18.4%)

本市の情報システムの安定稼働を図りつつ、市が保有するデータの公開や手続きのオンライン化に取り組んでいく。また、「北九州市公共施設マネジメント実行計画」等に基づき、総務局の所管する公共施設において、定期的・計画的な改修・整備の実施により、適正な施設の維持管理を行っていく。

- 拡充** ■官民データ活用推進事業

#### 平和への取り組みの推進

要求額 302百万円 (対前年度 + 483.7%)

戦後70年余りが経過し、当時の様子を知る人が少なくなるとともに、悲惨な戦争の記憶を風化させることがないよう、戦争を知らない世代に伝えていく。

- 非核・平和推進事業
- (仮称) 平和資料館建設事業



※公開時点での予算要求の内容であり、平成31年度に実施することが確定しているものではありません。